

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 14 日現在

機関番号：14602

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2014～2017

課題番号：26590159

研究課題名（和文）「対話によるいのちとこころの授業」の開発 - いじめ防止と自殺予防をめざして

研究課題名（英文）Development of lesson on "Life and mind" by dialogue - for prevention of bullying and suicide

研究代表者

伊藤 美奈子 (ITO, Minako)

奈良女子大学・生活環境科学系・教授

研究者番号：20278310

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,700,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、子どもたちに<こころの複雑さ><いのちの尊厳><死に対する恐怖と畏敬>を伝える“対話によるいのちとこころの授業”を開発することであった。

それに先立ち、いじめや心の悩みにより、子どもたちがさまざまな命の危機に瀕していることが確認された。本研究により、子どもたちに生きる意味を伝えるDVD教材「いのちと死の授業」を開発し、さらに、その成果と課題を実証することもできた。その結果については、いくつかの学会において報告し、議論することができた。

研究成果の概要（英文）： The purpose of this research was to develop lessons of life and mind by dialogue

to convey children's <complexity of mind> <dignity of life> <fear of fear and awe to death>. Prior to the research, bullying and heart troubles confirmed that children are on the brink of various life threats. Through this research, we were able to develop DVD teaching material "Life and death lesson" to convey the meaning of living to children and to verify the results and problems. The results were reported and discussed at several academic societies.

研究分野：臨床心理学

キーワード：いのち 死 自殺予防 生きる意欲

1. 研究開始当初の背景

近年、子どもたちを取り巻く問題の一つに生命尊重に関するテーマが多く存在する。たとえば、いじめ等の悩みによる自死や自傷など、自他のいのちを大事にできない事象も後を絶たないという背景がある。

2. 研究の目的

本研究の目的は、未来ある子どもたちに <こころの複雑さ> <いのちの尊厳> <死に対する恐怖と畏敬> を伝える “対話によるいのちとこころの授業” を開発することであり、その成果はいじめ防止・自殺予防に資するものと期待される。具体的には、実践そのものを精緻化すると同時に、自らの “喪失体験” を “語ること” “聴くこと” “学びとすること” についての効果測定を行い、その教育的意味・心理社会的意味をエビデンスにより示す。さらに、いのちや死という重いテーマに取組むにあたっての実施ガイドラインや、より学びを深めるための事前・事後プログラムを作成し、“学校現場や医療現場、臨床現場における対話型心理教育(対話によるいのちとこころの授業)” プログラムの開発・完成を最終的な目的とする。

3. 研究の方法

教育・医療・臨床現場における現状把握のための調査…目的: 「こころ・いのち・死」の教育の必要性が叫ばれながらも、まだ十分な教育プログラムが実現されないままに教育実践者の模索が続いている現状がある。竹ノ上・中北・伊藤(2012)らを参考に、その実態を把握し現場のニーズを明らかにする。方法: 小・中・高等学校、特別支援学校、医療・看護や臨床心理の課程を持つ大学、医療現場、さまざまな支援団体・NPO を対象に、実践の現状と課題やニーズについて調査する。

「語り手」に対する半構造化面接項目作成のための調査…目的: いのちの授業の「語り手」経験者に面接を行い、「語り手」になったことによるメリット・デメリット両面について聞き取りを行う。その中から、「語ることによる意味」を聞き取るための半構造化面接項目を作成する。方法: 研究協力者であり実践主体でもある、クラーク記念国際高等学校、NPO 血液患者コミュニティ「ももの木」、流産・死産グリーフケア研究会に対象者の選定を依頼し、聞き取りを行う。その選定プロセスや面接のサポート(支援スタッフ同席で面接を行う等)、事前事後のサポートについては、支援団体と連携しつつ実施する。

「聴き手」に対する調査方法や質問項目作成のための調査…目的: 「聴くこと」による心の動きを測定するアンケート項目を抽出するために、「ももの木」によるこれまでの「いのちの授業」で回収されたアンケート回答を分析する。それに加えて、こころ・いのち・死に対するイメージの変化を調べるた

めに、これらのイメージや意識を問うためのSD法尺度や文章完成法による調査方法を新しく開発することをめざす。さらに、いじめや自殺に関連があると考えられる自尊心や抑うつ尺度、いじめ観・死生観尺度についても精選する。方法: 新しい概念を検証する尺度作成のために予備調査を実施し、イメージや意識をとらえるための効果測定調査項目を精緻化する。

「学び手」に対する質問項目作成のための調査…目的: 自らの “喪失体験” を聴くことでどのような学びがあるかを明らかにするための項目作成を目的とし、それぞれの活動支援スタッフ、および参加者に対し聞き取り調査を行う。方法: 支援スタッフに実施した事後アンケートの自由記述ならびに聞き取りより、質問項目を抽出する。

“対話によるいのちと心の授業” 実施のための教材DVDとガイドライン(手引書)の作成…子どもたちに過剰な負担(ショックや死に対する恐怖など)を与えることなく、いのちや死について考えさせる教材となるDVD全6巻を作成する。さらに、「こころ」「死」「いのち」という重いテーマを扱うには、1回の授業だけでなく、事前・事後教育が不可欠である。配慮事項や事前・事後教育についてのガイドラインを作成し、教育プログラム開発の資料とする。

4. 研究成果

本研究は、子どもたちに <こころの複雑さ> <いのちの尊厳> <死に対する恐怖と畏敬> を伝える “対話によるいのちとこころの授業” を開発することであった。途中、教材の作成が遅れ、研究期間を延長したが、平成29年度の最終年度までの間、学会において成果を公表するとともに、完成したDVD教材を用いて、「いのちの授業」の効果や課題について議論することができた。

まず学会での報告としては、日本カウンセリング学会第49回大会での大会準備委員会企画シンポジウム「子どものいじめ予防・自殺防止とカウンセリング活動」で話題提供を行った。日本ヒューマン・ケア心理学会第18回大会でのポスター発表「子どもたちの「生きる意欲」とその背景要因-いのちについて語る大切さ-」、日本教育心理学会第58回総会でのポスター発表「子どもたちの「生きる意欲」といじめ-尺度項目の収集といじめ経験との関連-」を報告した。また、日本カウンセリング学会第50回大会において『「いのちと死の授業」とカウンセリング活動』という自主シンポジウムを行い、自殺予防やいじめの現状と支援について議論した。さらに、日本生徒指導学会第18回大会にて『「いのちと死の授業」DVDの上映と実践研究交流』というテーマでシンポジウムを行った。

また効果測定のための教材として、丸善出版よりDVD「いのちと死の授業」6巻を刊行

した。その6巻とは、第1巻「難病と闘って気づいたこと - 今このときのいのちを輝かせるために」、第2巻「殺処分から救われ人を助ける犬に-動物のいのち」、第3巻「いじめ・自殺と防ぐために-子どもたちのいのちを守る」、第4巻「学校における自殺予防教育-こころの危機に寄り添う」、第5巻「少年犯罪をなくすために-他人のいのち・自分のいのち」、第6巻「流産・死産経験者からの手紙 - 生まれて来られなかったいのちへ」である。さらに、この教材と関連して、「いのちの授業」については、NPO ももの木井上千恵美氏と共同で、その内容と成果分析について「いのちと向き合う生徒・教師そして私たち - いのちの授業を通して -」を『奈良女子大学心理臨床研究』に実践報告として公表した。この研究の成果として作成した教材DVD『いのちと死の授業』全6巻(丸善出版)のうち、1巻『難病と闘って気づいたこと - 今このときのいのちを輝かせるために -』と6巻『流産・死産経験者からの手紙 - 生まれて来られなかったいのちへ -』は、平成29年度優秀映像教材選奨「優秀作品賞」を受賞した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 23件)

1.伊藤美奈子「子どもの心に寄り添って、子どもの話を聴ける教師」 児童心理, 1014, 24-29. 2015年.

2.伊藤美奈子「思春期の自尊感情と心の危機」月間生徒指導, 12月号, 24-27. 2015年.

3.伊藤美奈子「平成27年度奈良県こころと学校生活等に関するアンケート」報告書. 2016年.

4.森下文・伊藤美奈子「不登校支援に描画を取り入れたA子の事例」 奈良女子大学心理臨床研究, 3, 67-74. 2016年.

5.金子恵美子・伊藤美奈子「通信制高校における不登校経験者のその後の適応 - 不登校期間, 不登校時の心身の状態に着目して」 奈良女子大学心理臨床研究, 3, 5-14. 2016年.

6.伊藤美奈子「流産による悲嘆反応とそれをめぐる関連要因」 心理臨床学研究, 34, 4-14. 2016年.

7.伊藤美奈子「減らない不登校の背景事情」月刊プリンシパル 2016年5月号, 12-15. 2016年.

8.伊藤美奈子「不登校になりやすい子どもの特徴とは? - 発達・心理面から -」月間生徒指導 6月号, 19-22. 2016年.

9.伊藤美奈子「学校現場で求められる“自尊感情”と不登校」 生徒指導学研究, 15, 16-23. 2016年.

10.伊藤美奈子「別室登校の子どもへのか

かわり」 子どもの心と学校臨床(遠見書房), 16, 64-71. 2016年.

11.伊藤美奈子「いじめ・いじめられる経験の背景要因に関する基礎的研究 - 自尊感情に着目して」教育心理学研究, 65, 26-36. 2017年.

12.森下文・伊藤美奈子「長期不登校支援の試み-描画法と母子並行面接の効果的導入-」 奈良女子大学心理臨床研究, 4, 49-60. 2017年.

13.伊藤美奈子・的場恵美・小林史奈・中岡美玖・池田侑美・大柴万友子・奥田景子・中山愛梨・西園浩実「実践報告:高等学校における「居場所」について-COCOROカフェ設立から運営まで-」奈良女子大学心理臨床研究, 4, 61-69. 2017年.

14.金子恵美子・伊藤美奈子「定時制高校に通う生徒の学校適応と性格特性との関連」埼玉純真短期大学研究論文集, 10, 37-44. 2017.

15.伊藤美奈子「自尊感情は「愛され」「ほめられ」「認められ」「感謝される」ことで高まる」総合教育技術, 7月号, 12-17. 2017.

16.伊藤美奈子「もっと叱ってほしい, もっとほめてほしい - 先生に「かわり」を求める子どもたち」児童心理, 1044, 1-10. 2017.

17.伊藤美奈子「学校現場における個と全体」 学鑑, Vol.114, No.4, 18-21. 2017.

18.伊藤美奈子「現代の子ども問題の理解へ 千原ジュニア『14歳』」 児童心理, 1054, 142-145. 2018.

19.金子恵美子・伊藤美奈子「小中学校における不登校経験者の通信制高校卒業後の適応状況」心理臨床学研究, 35, 657-663. 2018.

20.伊藤美奈子「臨床心理学における研究動向と今後に向けて」教育心理学研究年報, 57集, 印刷中. 2018.

21.伊藤美奈子・井上千恵美「いのちと向き合う生徒・教師そして私たち - いのちの授業を通して -」 奈良女子大学心理臨床研究, 5, 37-42. 2018.

22.森下文・伊藤美奈子「不登校児の母親の語りとその変化 - ナラティブ・セラピーとしての母親面接 -」奈良女子大学心理臨床研究, 5, 53-64. 2018.

23.老田紗央里・北有希・疋田有里・松岡祐里・元廣光貴・的場恵美・伊藤美奈子「居場所としての校内カフェにおける実践報告 - 課題解決に向けた取り組み -」奈良女子大学心理臨床研究, 5, 73-79. 2018.

[学会発表](計 9件)

1.自主シンポジウム企画・司会「今, 求められる「いのちの授業」 - 学校現場における展開」日本教育心理学会第57回総会(新潟大学・朱鷺メッセ). 2015.

2.大会準備委員会企画シンポジウム話題提供「いじめ・自殺と向き合うカウンセリ

ング」日本カウンセリング学会第47回大会(環太平洋大学)

3. 口頭発表「いのちの授業」前後に見る中学生の死生観の変化」日本ヒューマン・ケア心理学会第17回大会(日本赤十字看護大学)2015.

4. ポスター発表「造血器腫瘍サバイバーによる「いのちの授業」」日本サイコオンコロジー学会2016.

5. 大会準備委員会企画シンポジウム話題提供「子どものいじめ予防・自殺防止とカウンセリング活動」日本カウンセリング学会第49回大会(山形大学)2016.

6. ポスター発表「子どもたちの「生きる意欲」とその背景要因-いのちについて語ることの大切さ-」日本ヒューマン・ケア心理学会第18回大会(埼玉県立大学)2016.

7. ポスター発表「子どもたちの「生きる意欲」といじめ-尺度項目の収集といじめ経験との関連-」日本教育心理学会第58回総会(香川大学)2016.

8. シンポジウム話題提供「いのちと死」の授業とカウンセリング活動」日本カウンセリング学会第50回大会(跡見学園大学)2017.

9. 研究交流フォーラム話題提供「いのちと死の授業」DVDの上映と実践研究交流」日本生徒指導学会第18回大会(岡山大学)2017.

〔図書〕(計6件)

1. 伊藤美奈子「さなぎとしての不登校」「さなぎになれない不登校」高坂雅康編『思春期における不登校支援の理論と実践』ナカニシヤ出版 Pp.94-113.2016年.

2. 伊藤美奈子「いじめの心理機制と背景」学校教育相談の理論・実践事例集 いじめの解明 第□部いじめの解明 理論編 第1章 いじめに関する基本的理解 第一法規. Pp.3-16. 2016年.

3. 伊藤美奈子「教師のメンタルヘルス」佐藤学・秋田喜代美編 岩波講座 教育変革への展望4『学びの専門家としての教師』岩波書店. Pp.113-134.2016年.

4. 伊藤美奈子「思春期の心の世界」和田修二・伊藤美奈子著『メンタルケアの人間観/思春期の心の世界』メンタルケア協会 Pp.33-76.2016年.

5. 伊藤美奈子「不登校に対する支援」高坂雅康編『ノードとしての青年期』ナカニシヤ出版 Pp.138-139.2018年.

6. 総監修:相馬誠一・伊藤美奈子 DVD「いのちと死の授業」丸善出版株式会社

第1巻 難病と闘って気づいたこと~今このときのいのちを輝かせるために~

第2巻 殺処分から救われ人を助ける犬に~動物のいのち~

第3巻 いじめ・自殺を防ぐために~子どもたちのいのちを守る~

第4巻 学校における自殺予防教育~こ

ころの危機に寄り添う~

第5巻 少年犯罪をなくすために~他人のいのち・自分のいのち~

第6巻 流産・死産経験者からの手紙~生まれて来られなかったいのちへ~

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

取得状況(計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

伊藤美奈子(ITO, Minako)

奈良女子大学・生活環境科学系・教授

研究者番号:20278310

(2) 研究分担者

()

研究者番号:

(3) 連携研究者

()

研究者番号:

(4) 研究協力者

()